

令和6年度 第2回遠軽地区地域公共交通活性化協議会 議事

日時場所	令和7年2月13日水曜日 13時30分 メトロプラザ 多目的室4・5
1 開会	
事務局（遠軽町企画課長） 開会の挨拶	
2 会長挨拶（遠軽町長）	
<p>皆様お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>最近のお話をしますと、昨年の10月から名寄線代替バス路線運転手の確保が難しいということ、また勤務時間、運転時間の規制よりまして減便になっております。</p> <p>札幌市ですら、運転手がいなくて廃止とか減便になっているということでありまして、これは全て人口減少ということが大きな原因の1つであります。自治体でも大卒の応募が0人というところが出てきています。大きく時代が変わってきています。遠軽町は合併20年になります。財政難による合併でした。ただお金の問題だけではなく、人口の推計による人口減少の問題も現在大きな狂いもなく出ています。国も何もしなかった訳ではありませんが、様々な問題が重なり今の日本になっています。</p> <p>JRは3月に特急往復4本から往復2本になり、2本は快速になります。JR会長は石北線を存続させる一心で取り組みたいとおっしゃっていますが、国レベルで動かないとダメだと思っております。今まで手一杯やれることはやってきましたが、次ステージに行ったら先を考えないと、地方が大きく衰退していくと感じております。</p> <p>その中、3町で地域の公共交通をどうするか、できる限りのことはやっていこうと思っておりますので、本日の会議もよろしくお願い申し上げます。</p>	
人事異動に伴う委員の変更について	
委員の変更及び任期について事務局説明（遠軽町企画課長） 17名の委員中12名出席で会議が成立していることを報告。	
3 議事	
事務局説明（各町担当） 【報告第1号】 令和6年度遠軽地区地域公共交通計画進捗状況等について 1 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る地域公共交通計画の認定について、令和6年9月26日認定されたことを報告 2 遠軽町バス路線再編の進捗状況について、遠軽町バス路線再編予定日を令和7年10月予定とすることを報告 3 湧別町新規路線の利用状況について、令和6年6月運行開始の中湧別・佐呂間線について報告。 4 佐呂間町バス路線再編の進捗状況について、遠軽線の遠軽町民乗車可能とする再	

編を令和7年10月予定とすることを報告。

承認

【議案第1号】佐呂間町ふれあいバス車両更新について

更新車両の説明

山本委員 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金について、新車両の運行開始年度の補助金となる。購入に係るスケジュールを整理し相談していただければと思います。

可決

4 意見交換

湧別町 因副町長

- ・中湧別・佐呂間線を4月から住民の要望に応え、1往復増やし3往復とする。北見赤十字病院への通院が主となっている。更なる利用があるか状況を見極めたいと思っています。
- ・4月から上湧別地区4つの小学校が上湧別中学校に統合し、義務教育学校を開設する。それに伴いまして、各方面から通学させるため、スクールバスを増便します。国道242号線沿いは民間バスを利用して通学する小学4年生以上については、町が全額補助するという考えています。夏場は自転車通学となる生徒はいると思いますが、利用者数が増えると考えています。

佐呂間町 武田町長

- ・湧別町と佐呂間町の路線が、利用者がそこそこいるのがわかり嬉しく思っています。更に1日2往復から3往復に増便になることで、一步前進できたと感じております。
- ・町民からはふれあいバスの遠軽線、北見線を平日は毎日走らせてほしいという要望はありますが、バスは買っても運転手の確保が一番の課題と思っております。働き方改革の中で、土日しか運休していなかったが祝日を運休できないかと相談があり、今の体制の中でも縮小になってきています。
- ・本当に町外との公共交通機関が無いというのは、佐呂間は日本のガラパゴスと思っています。協議会の中で佐呂間町を前進させていくことが必要で皆様の意見を拝借し、協議会が発展することを願っています。今後ともよろしく願います。

遠軽町 佐々木町長

- ・先ほども話しましたが、特急が4本から2本になることは大きい問題です。私も相当JRに言いましたけど、我々のステージは終わったと感じております。札幌から

帯広までが特急11本、釧路までが特急6本、函館まで特急11本走っています。これがもし半分になったら大騒ぎになります。残念ながらオホーツクはそこまで大騒ぎにならなかった。人口減少に伴って、バスもそうだしいろいろなものが切られていく中で、もっと声を挙げていいのではと感じがします。働く側にとっては悪いことじゃないし、国もチャレンジや制度変えたりするのは賛成なんです。「1回やってみよう」というのいいんです。その後起きたことに対するフォローが、ほとんどなかったなっていうのが、やっぱり今の地方の衰退招いてるところかなというふうに思ってますので、これからも大きな声出していかないとダメだと思っております。

為国アドバイザー

- ・遠軽町長が言っていただいたように、もっと全体的に見ていかないといけないの場面が多くなってきてまして、各地で見えますと一方だけに偏りすぎてるかな。例えば鉄道の話、それとバスの話ってあります。けれども、人だけに偏ってて貨物の話が全然出てこない。
- ・今高速道路、高規格道路をどんどん作っています。遠軽町長がお話しいただいた「命の道」が絶対必要になってきていて、そうすると救急車で病院に運ぶ、そうすると今度病院に通院するという形になった時には、この湧別と佐呂間をつないでる交通だけの話じゃなくて、交通をその中の一つとして生活様式の中に入れていかないと交通だけで考えてくるの駄目だろうなという感じがしてます。
- ・本当にこの地域がどういうふうにしたいのかという目安がないと、単に交通をいじるだけではやっぱり難しいというのが各地で今起こっています。人口減少は本当にどこでも聞く問題です。けれども、その中でどういような地域にするか、その地域の中に交通っていうのはどういう支えになってくるんだろうかということ、そこをよく考えないといけない。じゃあ、それは誰が担っていくのかってなったら、バス会社もかなり厳しくなると思うので、なかなか車両も動かさない。運転手もいないという形になってくる。本当にそれでいいんですか？って話が出てきますよね。必要な人って言うと高齢者の方たち、運転免許持ってない人、免許返納した人とかそういう話になりますが、絶対数が少なくなってきます。その人たちのためにどこまでフォローすればいいんだろうかという。この辺が行政サイドもジレンマになるだろうし、地域にとってもジレンマになります。
- ・高校生がやっぱり近隣への通学には公共交通使ってくれるんですけども、雄武町長と話して雄武高校が今年の入学が14人なんですね。興部高校が12人。紋別高校が1クラス定員に満たないとなるとどうしますか。足作り運んだって全然足りない。じゃあ、もうちょっと違う形のアプローチを考えていかないといけないのかな？という時期に来てるというふうに感じてますので、公共交通の課題として、頭に入れていただき、いろんな視点で検討いただくとありがたいなと思っております。

5 その他

事務局

- ・委員の任期について説明の方をさせていただきます。令和5年6月に発足しました法定協議会ですが、委員の任期が規約の附則に規定されており、今年3月31日までとなっております。委員の皆様は本協議会の部会に位置付けをしている各町の公共交通会議で委嘱され、本協議会に出席していただいております。次の任期は令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間となり、規約第4条の規定により委員構成が示されておりますので、引き続き委員のお願いをしたいと考えております。

人事異動等によりまして、変わる場合は事務局に連絡いただきますこと、後任の方への引き継ぎの方をよろしく願いいたします。

6 閉会